



第17期 株主通信

平成28年4月1日～平成29年3月31日



# グループのリソースを結集し、 動物業界における川上から川下までの すべてを発展的に繋ぐインフラプレーヤーに向けた 第一歩を踏み出します。

アニコム ホールディングス株式会社  
代表取締役社長

小 森 伸 昭

### 2016年度（平成29年3月期）決算につきまして

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社におきましては、2015年度の決算を以って設立以来初めてとなる株主様への配当を実施することができましたが、2016年度決算におきましても配当を継続することとしました。今後も株主のみなさまのご期待に沿えるよう、より一層の努力を重ねてまいりる所存でございますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、2016年度決算につきまして、ご報告いたします。マクロ的な外部環境として当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の不確実性の高まりがあるなか、日銀による金融緩和政策の継続や政府の景気対策等の効果もあって、個人消費の回復には力強さが欠けるものの、雇用・所得環境の改善や輸出、生産の持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな景気回復基調で推移しました。

一方、ミクロ的な外部環境としてペット関連市場を見ますと、これまでの傾向からしても、マクロ経済環境の変化による影響は限定的な業界であると考えております。ここ数年、国内犬・猫の飼育頭数は逡減傾向にある一方で、ペット産業全体の市場規模は拡大を続けており、一頭当たりにかかる飼育費も上昇傾向にあり

ます。また、ペット保険市場も順調に拡大しており、約500億円にまで成長しております。

続いて、2016年度において取り組みました当社グループの重点施策と業績についてご説明いたします。

1つ目の施策は、「ペット保険の健全な成長」です。当社グループの中核子会社であるアニコム損害保険株式会社（以下 アニコム損保）においては、精力的な営業活動に注力してきており、保有契約数は前年同期比で8.5%増の635,670件と、順調に増加しております。また、2016年11月には保険の引受対象動物を8種類追加（合計13動物種）し、これらの契約件数も順調に伸ばしております。E/I損害率においては58.9%となり、引き続き改善が進みました（前年同期比で1.2pt改善）。一方、既経過保険料ベースの事業費率は、規模の経済効果に加え経費管理の徹底、システムを中心とした業務改善等を行っているものの、本社移転及び予防に向けた投資等により32.1%と前年同期比で1.0pt上昇いたしました。この結果、両者を合算した既経過保険料ベースコンパインド・レシオは、前年同期比で0.2pt改善した91.0%となり、成長に向けた投資継続フェーズにおいても、利益構造の改善が進みました。

2つ目は「予防による新たな価値提供」です。「どうぶつと飼い主の健康寿命延伸」を目指し、これまで当社グループに蓄積された保険金請求データやカルテデータ等を科学的・疫学的に分析す

ることで、動物の疾病に関する予後改善、再発防止、未然防止に役立つ施策を展開すべく、グループ全体で多角的な研究と新規事業開発を積極的に行っております。あわせて、設備投資の強化と専門的な人材を幅広く獲得することで、体制整備が着実に進みしました。

これらの施策の結果、保険引受収益28,068百万円（前連結会計年度比10.6%増）、資産運用収益504百万円（同26.8%減）などを合計した経常収益は28,978百万円（同9.3%増）となりました。一方、保険引受費用18,967百万円（同9.0%増）、営業費及び一般管理費7,273百万円（同8.6%増）などを合計した経常費用は26,606百万円（同9.1%増）となりました。その結果、経常利益は2,372百万円（同11.4%増）となりました。また、「どうぶつと飼い主の健康寿命延伸」に向けたイベントとして取り組んでおりましたアニコパーク西新宿が終了したことを含め、減損損失を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は1,558百万円（11.4%増）となりました。

### 2017年度に向けて

2017年度におきましては、ペット保険を一気に拡大させ、中期的な収益増大、利益獲得に向けた足固めに注力します。そのために、以下の重点施策に取り組んでまいります。

1つ目の施策は、「ペット保険の収益力向上」です。アニコム損保におけるペット保険の保有契約件数は63万件を超えておりますが、当社のみならずペット保険自体の普及率は必ずしも高いとは言えず、成長途上の市場であると認識しております。また、ペットの飼育頭数が逡減するなか、ペット保険市場は厳しい競争環境となっており、今後も更なる競争が続くことが予想されます。

今後、動物の健康保険制度として社会に広く認知・活用されるよう、魅力ある保険を提供し続けるとともに、他社の保険商品との優位性を打ち出していくことが急務であると考えております。そのため、これまで最重要ターゲットとしてきたペットショップチャンネルにおける契約獲得に並行し、すでに日本で飼育されている約2,000万頭のペットをターゲットとした一般チャンネルにおけるWEB等の直販チャンネルの拡大や、ペットショップ以外のチャンネルの開拓といった規模拡大に向けた方針に舵を切ります。また、保

険金の適正化や生活習慣に関する予防の取り組みを拡充することで、中期的には50~60%前後での適切な損害率コントロールを図ってまいります。

2つ目は「予防に向けた取り組み強化」です。

当社の創業からの思いである「予防型保険会社」の実現に向け、これまでも数多くの取り組みを行ってまいりましたが、これまでに投資を進めてきた人材・設備・データを活用し、1つでも多くの傷病を1秒でも早くなくすることができるよう、取り組んでまいります。特に、遺伝病撲滅に向けた活動を本格化させることで、疾病関連遺伝子の解析等の検査事業の展開や遺伝病フリーに向けたフリーディング支援を行うとともに、共生細菌をキーにした発症予防等の研究を継続し、事業化を目指します。

さらに、アニコム パフェ株式会社の「アニコムレセプター」を通じた診療データや、アニコム損保における保険金請求データなどのビッグデータを活用し、次世代予防法の確立を目指すとともに、保険金の削減に繋げていきます。

### ペットの生涯すべてと接するインフラプレーヤーとして

現代社会において、わたしたち人間とともに暮らす動物は「家族の一員」であることはもちろん、隣に寄り添うだけで心の豊かさをもたらし、明日への大きな活力を与えてくれる存在となっています。それはまさに、わたしたち人間にとって「心の発電所」とも言える存在です。

当社グループでは、そのような家族であり心の発電所でもある動物がケガや病気をせず、長く健康に幸せに暮らせる社会を創り上げることは、わたしたち人間に長く活力を与え、社会の発展に貢献するものであると捉え、すべての命の幸せを追求してまいります。

そのためにも、単なる保険会社グループではなく「ペットの生涯すべてと接するインフラプレーヤー」となることで、動物業界における川上から川下までを発展的に繋ぐよう取り組んでまいりる所存です。

今後もペット保険事業の成長及び動物の健康寿命延伸に向けて、グループ役職員一丸となって、より一層の努力を重ねてまいりる所存でございますので、引き続き株主のみなさまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当年度末	前年度末
	平成29年3月31日現在	平成28年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	15,242	7,556
有価証券	5,914	10,739
貸付金	294	-
有形固定資産	1,432	1,527
無形固定資産	904	653
その他資産	3,876	4,297
繰延税金資産	597	433
貸倒引当金	△ 140	△ 16
資産の部合計	28,123	25,192
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	12,993	11,888
その他負債	2,635	2,414
賞与引当金	172	157
特別法上の準備金	41	32
負債の部合計	15,842	14,492
<b>純資産の部</b>		
資本金	4,402	4,396
資本剰余金	4,292	4,286
利益剰余金	3,539	2,080
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	12,233	10,762
その他の包括利益累計額	△ 100	△ 123
その他有価証券評価差額金	△ 100	△ 123
新株予約権	148	60
純資産の部合計	12,281	10,699
負債及び純資産の部合計	28,123	25,192

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当年度	前年度
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
経常収益	28,978	26,506
経常費用	26,606	24,377
経常利益	2,372	2,129
特別利益	-	27
特別損失	203	83
税金等調整前当期純利益	2,169	2,073
法人税及び住民税等	783	796
法人税等調整額	△ 172	△ 122
法人税等合計	610	674
当期純利益	1,558	1,399
親会社株主に帰属する当期純利益	1,558	1,399

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当年度	前年度
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,231	1,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,233	2,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 79	89
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,385	4,539
現金及び現金同等物の期首残高	6,106	1,567
現金及び現金同等物の期末残高	13,492	6,106

## 連結株主資本等変動計算書

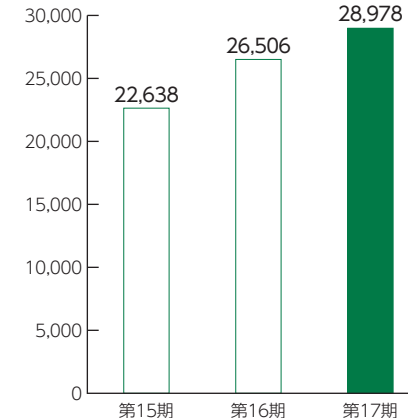
(当年度 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,396	4,286	2,080	△ 0	10,762	△ 123	△ 123	60	10,699
当期変動額									
新株の発行	6	6			12				12
持分法の適用範囲の変動			△ 9		△ 9				△ 9
剰余金の配当			△ 89		△ 89				△ 89
親会社株主に帰属する当期純利益			1,558		1,558				1,558
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						22	22	87	110
当期変動額合計	6	6	1,459	-	1,471	22	22	87	1,581
当期末残高	4,402	4,292	3,539	△ 0	12,233	△ 100	△ 100	148	12,281

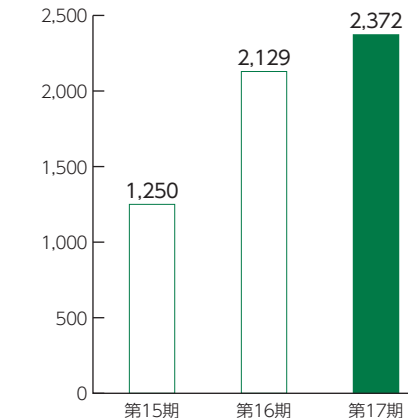
## 経常収益

(単位:百万円)



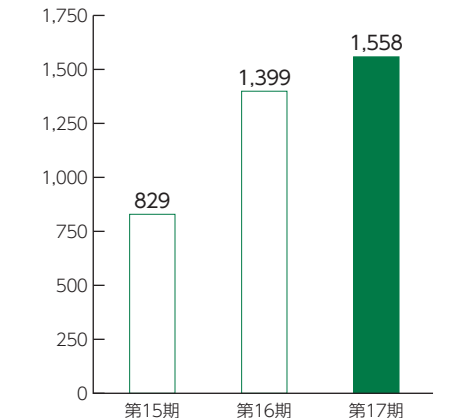
## 経常利益

(単位:百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)





健康寿命延伸への取り組み



アニコムグループでは、「いのちのつながり」をテーマとした「anico park」イベントを期間限定で開催いたしました。動物と一緒に楽しんでいただける複合施設として、人間と動物双方がより健康で長生きできるよう、「食事～anico kitchen～」 「運動～anico fitness～」 「身体の状態に関する測定サービス～anico habits～」などの観点からサービスを提供しました。今後は、動物の健康寿命延伸により焦点をあて、動物の遺伝病撲滅に向けた遺伝子解析やブリーディング支援、共生細菌をキーにした発症予防等の研究を進めていきます。アニコム先進医療研究所株式会社での遺伝子解析技術の確立や、動物の共生細菌（腸内等）検査が進みつつあり、今後事業化を目指します。

「セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社」が本格的にスタート



2016年10月に「セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社」が業務を本格的にスタートいたしました。富士フィルム株式会社が写真フィルムで培った高度な生産技術や品質管理技術、再生医療に関する技術、画像診断技術、血液の化学成分の分析技術と、当社グループの動物病院ネットワーク、電子カルテシステム、豊富な診療情報を組み合わせることにより、動物の先端医療分野で再生医療を中心とした革新的かつ高度な医療技術及びサービスの開発とその実用化を図ります。実用化した技術・サービスを普及させていくために、動物病院との連携、アニコムグループのペット保険との組み合わせなどにより、動物先端医療の新たな仕組みを提供します。今後も「信頼」と「細胞」により、再生医療・細胞治療を中心とした先端医療の実用化・普及を通じて、獣医療に貢献していきます。

「どうぶつ健保はっぴい」の対象動物を追加

2016年11月より、「どうぶつ健保はっぴい」の対象動物に、エキゾチックアニマルと呼ばれる8種類の動物（モモンガ・リス・ハムスター・ネズミ・モルモット・ハリネズミ・カメ・トカゲ）を追加し、国内最多種の13種類の動物の引受けを行っています。追加した動物の保険契約も順調に増加しており、引き続きこれまでアプローチできていなかったペットオーナーのニーズに応えていきます。



「家庭どうぶつ白書 2016」を発行・「どうぶつKOKUSEI調査」を実施



アニコム損保における保険金支払実績に基づいた動物の疾患統計や、家庭動物の健康管理の参考としていただけるデータ等、様々な角度から分析を行った「家庭どうぶつ白書」を2016年度も発刊いたしました。のべ1,500万件を超える保険金請求データに加え、2016年2月に行った保険契約者と契約動物の健康状態やライフスタイルについての総合的なアンケート調査（「どうぶつKOKUSEI調査」）における回答結果も踏まえ、より詳細な分析を行っております。国内最大規模の疫学データとして、獣医学会や論文をはじめ、雑誌や新聞記事などでも活用されており、幅広い視点から獣医療・ペット産業の発展へと貢献しております。これらのデータを活用して、次世代予防法の確立を目指すとともに、保険金の削減へ繋げていきます。

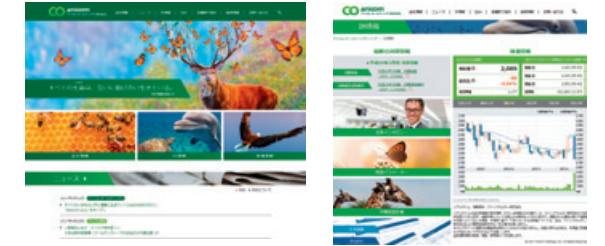
「東証IRフェスタ2017」へ出展



2017年2月の日本取引所グループ/東京証券取引所主催の「東証IRフェスタ2017」に出展いたしました。ペット保険を中核事業とする当社ならではの試みとして、犬や猫といった動物と一緒にブース出展を実施し、大変好評をいただきました。ブースでの説明会及び当社代表取締役社長小森 伸昭による会社説明会も毎回満席の盛況ぶりでした。今後もこのような活動を通じて、情報発信を行っていきます。

当社ホームページでは、株主投資家のみなさまに向けた企業情報・財務情報をはじめ、当社グループの各種取り組みや経営パラメーターなどをご覧いただけます。

当社グループをさらにご理解いただくためのツールとしてぜひ活用ください。



IR情報では、業績ハイライトやIRライブラリー等をご紹介します。

また、「IR情報」トップページには社長インタビューを掲載し、株主・投資家のみなさまへ「わかりやすいIR情報」をお伝えしてまいります。

<http://www.anicom.co.jp/>

株主のみなさまの声を聞かせください

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 8715

いいかぶ 検索

空メールによりURL自動返信  
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます。

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

# 株式の状況／会社概要

## 株式及び株主の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	17,945,600株
当期末の株主数	4,876名

## 大株主の状況

株主の氏名又は名称	当社への出資状況	
	持株数等(千株)	持株比率(%)
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	2,390	13.3
KOMORIアセットマネジメント株式会社	1,220	6.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,089	6.1
ソニー損害保険株式会社	871	4.9
C B C 株 式 会 社	552	3.1
小 森 伸 昭	464	2.6
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM	460	2.6
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	425	2.4
MSIP CLIENT SECURITIES	341	1.9
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	302	1.7

(注) 持株比率は、自己株式(610株)を控除して計算しております。

## 会社概要 (2017年3月31日現在)

社 名	アニコム ホールディングス株式会社
設 立	2000年7月5日
資 本 金	4,402百万円
本 社	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-17-1

## 役員 の 状 況 (2017年6月27日現在)

代 表 取 締 役 社 長	小 森 伸 昭
常 務 取 締 役	百 瀬 由 美 子
取 締 役	平 井 聡
取 締 役	亀 井 達 彦
取 締 役 ( 社 外 )	戸 田 雄 三
取 締 役 ( 社 外 )	福 山 登 志 彦
常 勤 監 査 役	須 田 一 夫
監 査 役 ( 社 外 )	岩 本 康 一 郎
監 査 役 ( 社 外 )	須 田 邦 之
監 査 役 ( 社 外 )	武 見 浩 充

## 株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公 告 方 法	電子公告にて行う
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催		公告掲載URL <a href="http://www.anicom.co.jp/">http://www.anicom.co.jp/</a>
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		